

■風水雪害対策

●集中豪雨から身を守りましょう

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことで、突発的に起こるためその予測は困難です。そのため、周囲の状況や気象情報から危険レベルを判断し、行動することが重要です。

集中豪雨の危険を知っておきましょう

短時間で危険な水位

河川、下水道、用水路などは、激しい雨が降ることや周りからも雨が流れ込むことで、数分から数十分で危険な状態となります。



下水の排水能力を超える大雨

下水道の雨水排水能力(時間雨量 50 mm)を大きく超える時間雨量 100 mm以上の豪雨が頻発しています。

※マンホール・側溝に注意！



注意報や警報が出ない雨でも災害が発生する

大雨や洪水の警報・注意報の発表基準に達しない雨でも災害が発生する場合があります。



離れた場所の雨でも影響する

自分の居る場所で強い雨が降っていないくとも、上流で降った雨が流れてきて、危険な状態になる場合があります。



◆このような前兆を確認したら避難

- 空が真っ暗になったり、雷鳴や稲妻を確認したら建物内へ避難
- 冷たい風が吹き出したら注意
- 大粒の雨やひょうが降り出したら建物内へ避難
- 川の水かさが急に増したら即避難



雨の強さと被害の目安

| 1時間の雨量(mm) | 予報用語 | 人の受けるイメージ | 災害発生状況 |
|------------|---------|------------------------------------|--|
| 10以上～20未満 | やや強い雨 | ザーザーと降る。 | 長く続く雨は注意が必要。 |
| 20以上～30未満 | 強い雨 | どしゃ降り。 (傘をさしていても濡れる。) | 側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。 |
| 30以上～50未満 | 激しい雨 | バケツをひっくり返したように降る。 (道路が川のようになる。) | 山崩れ・かけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。 |
| 50以上～80未満 | 非常に激しい雨 | 滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く。車の運転は危険。) | 都市部では地下室に雨水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生。 |
| 80以上 | 猛烈な雨 | 息苦しくなるような、圧迫感がある。 恐怖を感じる。 | 雨による大規模な災害の発生する危険性が強く厳重な警戒が必要。 |

●台風から身を守りましょう

台風が接近して災害発生のおそれがある場合には、台風情報とあわせて大雨、洪水、暴風、高波、高潮などの気象情報が発表されます。情報に注意し、早めに避難しましょう。



◆台風の強さの階級分け

| 階級 | 最大風速 |
|-------|-----------------|
| 強い | 33m/秒以上～44m/秒未満 |
| 非常に強い | 44m/秒以上～54m/秒未満 |
| 猛烈な | 54m/秒以上 |

◆台風の大きさの階級分け

| 階級 | 風速 15m/秒以上の半径 |
|-------------|-----------------|
| 大型(大きい) | 500km以上～800km未満 |
| 超大型(非常に大きい) | 800km以上 |

風の強さと被害の目安

| 平均風速(m/秒) | 予報用語 | 人への影響 | 屋外・樹木の様子 | 車に乗っていて |
|-----------|------------|-----------------------|-----------------|--|
| 10以上～15未満 | やや強い風 | 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 | 樹木全体が揺れる。電線が鳴る。 | 道路の吹き流しの角度が水平(10m/秒)。高速道路で乗用車が横風に流される感覚を受ける。 |
| 15以上～20未満 | 強い風 | 風に向かって歩けない。転倒する人もいる。 | 小枝が折れる。 | 高速道路では、横風に流される感覚が大きくなり、通常の速度で運転するのが困難になる。 |
| 20以上～25未満 | | 物につかまつてしまわり立たないと転倒する。 | | |
| 25以上～30未満 | 非常に強い風(暴風) | 立っていられない。屋外での行動は危険。 | 樹木が根こそぎ倒れはじめる。 | 車の運転を続けるのは危険な状態となる。 |
| 30以上 | 猛烈な風 | | | |

●降雪期の地吹雪に注意しましょう

温暖化などの影響により、異常気象が増加しています。

特に、平成21年度は各地で地吹雪が発生し、多数の車両が立ち往生しました。

大雪のときはどうしても除雪が遅れがちとなります。

地吹雪発生時など、状況によって通行止めとなる箇所もありますので、幹線道路をご利用ください。

地吹雪が発生しやすい道路には、注意看板を設置しています。



視程 100～200m



視程 100m未満